

法 学 号 外
平成 28 年 8 月 2 日

各 私 立 高 等 学 校 長 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 29 年度豊橋技術科学大学第 1 年次入学者選抜に関する要項について
このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

豊技大入実第37号
平成28年 7月12日

各 都 道 府 県 知 事
各都道府県教育委員会教育長 殿

豊橋技術科学大学長
大 西 隆
〔公印省略〕

平成29年度豊橋技術科学大学第1年次入学者選抜
に関する要項について（通知）

このことについて、本学では別添のとおり決定しましたので、お知らせします。
については、貴職管下の高等学校へ周知くださるよう、よろしくお取り計らい願います。

【本件問い合わせ先】

〒441-8580

豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課入試実施係

Tel : 0532-44-6581 Fax : 0532-44-6582

E-mail : nyushi@office.tut.ac.jp



平成29年度

第1年次入学者選抜に関する要項



技術を究め、技術を創る

国立大学法人

豊橋技術科学大学

目 次

豊橋技術科学大学のアドミッションポリシー	1
I 募集人員	5
II 入学者選抜関係日程	5
III 入学者の選抜方法等	
1 一般入試	5
2 推薦入試	6
3 帰国子女入試	6
4 私費外国人留学生入試	6
IV 障害を有する入学志願者との事前相談について	6
V 検定料の免除について	7
VI 個別の入学資格審査について（第1年次一般入試）	7
VII その他	
1 入学試験に関する問い合わせ	7
別紙1 平成29年度豊橋技術科学大学入学者選抜の実施教科・科目等について	8
別紙2 平成29年度推薦入試選抜方法等	9
別紙3 平成29年度帰国子女入試選抜方法等	10
別紙4 平成29年度私費外国人留学生入試選抜方法等	11
インターネットを利用した出願について	12

豊橋技術科学大学工学部入学者受入方針（アドミッションポリシー）

本学では、豊かな人間性と国際的視野および自然と共生する心を持つ実践的・創造的・指導的能力に加え、高度技術開発能力を備えた国際的に活躍できる上級技術者、持続的発展可能型社会に貢献できる挑戦的技術者を養成するために、特色ある技術科学教育を行うとともに、次の時代を先導する先端的技术科学の研究を行っています。

本学では、次のような学生を広く求めます。

1. 人と自然を愛し、地域社会や国際社会に貢献する志を持つ人
2. 技術や科学を探究する志を持ち、それらの学習に必要な基礎学力がある人
3. 自ら積極的に学び、考え、行動し、技術科学の新しい地平を切り拓く志を持つ人

各課程の入学者受入方針（アドミッションポリシー）

基幹産業を支える先端的技術分野

〔機械工学課程〕

機械工学課程では、機械工学の基盤となる力学、制御、システム工学、材料工学、生産加工学、エネルギー変換工学等の諸学問について基礎的知識を持ち、それらの知識を「ものづくり」に展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者の養成を目指しています。そのため、次のような学生を広く求めます。

- ・ものづくりに強い関心を持ち、その発展に寄与する意欲がある人
- ・自然科学、数学、情報技術に関する既習内容を理解し、それらを活用したい人
- ・機械工学の知識や技術に強い関心を持ち、機械工学全般について幅広い知識の獲得と、主体的に学ぶ意欲がある人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者(推薦入試、一般入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bの知識と論理的思考能力

理科：物理基礎、物理、化学基礎、化学の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者(推薦入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語および機械工学・材料工学関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

〔電気・電子情報工学課程〕

電気・電子情報工学課程では、電気・電子情報工学分野の発展を支える電気電子材料やエネルギーシステムなどの基盤技術分野や、集積化した電子デバイスやセンサー分野、無線通信システムや情報ネットワークなどの情報通信技術分野で活躍できる実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者の養成を目指しています。そのため、次のような学生を広く求めます。

- ・電気・電子工学、情報通信工学、物質材料科学に関する知識や技術に強い関心を持つ人
- ・旺盛な好奇心を持ち能動的で自覚的に勉学に取り組む意欲がある人
- ・技術を科学的にとらえるための数学と物理学の基礎を理解し応用できる人
- ・英語および国語の学習に積極的に取り組み高度な表現力を養おうと考える人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者(推薦入試、一般入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学活用に関する知識と論理的思考能力

理科：物理基礎、物理、化学基礎、化学に関する基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者(推薦入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語、社会及び電気・電子情報工学関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

〔情報・知能工学課程〕

情報・知能工学課程では、次世代の高度・大規模情報システムのための技術、生命・自然・社会の知に基づく新しい情報科学、およびこれらの応用技術を修得し、あらゆる産業分野において先端情報システムの創造を担うことのできる実践力・創造力・指導力を備えた技術者の養成を目指しています。そのため、次のような学生を広く求めます。

- ・情報工学・情報通信工学、ならびに情報科学に広く興味を持ち、それらの最先端分野の開拓や応用分野への展開に意欲がある人
- ・自然科学、数学、情報に関する基礎的な知識、論理的思考能力を持つ人
- ・国際コミュニケーション能力を身につけ、国内外での活躍を志す人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者(推薦入試、一般入試)】

コミュニケーション能力として相手に自分の考えを説明する力があることが望まれます。各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について大学での勉学の基礎を履修しておくことが望まれますが、特に工学部における授業内容を理解するために、数学、理科、国語、英語に関しては、下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学：数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学Bまたは理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱの知識と論理的思考能力

理科：物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物の基礎的な知識

国語・英語：基礎的な読解力、表現力、コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者(推薦入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い、すべての教科、科目について、大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に、工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学、理科、国語、英語および情報関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

持続的発展社会を支える先導的技術分野

〔環境・生命工学課程〕

環境・生命工学課程では、生命科学、応用化学、環境科学分野に関する基礎的知識を持ち、それらの知識を専門として深めることで次世代を支える技術として展開できる意欲と能力を持った実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者の養成を目指しています。そのため、次のような学生を広く求めます。

- ・人類と自然との共存を基盤とする持続可能社会の構築・発展に貢献できる技術者を志す人
- ・生命科学・応用化学・環境科学の分野の先端技術・知識を活用できる技術者を志す人
- ・国際コミュニケーション能力を身につけ、国内外で活躍できる技術者を志す人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者(推薦入試, 一般入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い, すべての教科, 科目について, 大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に, 工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学, 理科, 国語, 英語に関しては, 下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学: 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学Bの知識と論理的思考力

理科: 物理基礎, 化学基礎, 生物基礎の3科目に加え, 物理, 化学, 生物の中から1科目以上の基礎的な知識

国語・英語: 基礎的な読解力, 表現力, コミュニケーション能力

【工業高等学校等から入学を希望する者(推薦入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い, すべての教科, 科目について, 大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。特に, 工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学, 理科, 国語, 英語の科目に関して十分に習得していることが望まれます。

【建築・都市システム学課程】

建築・都市システム学課程では, 建築分野と社会基盤分野の専門技術をバランスよく修得し, 都市・地域の建築・社会基盤施設およびそれらを取りまく環境を, 将来を見据えてデザインするとともに, それらをシステムとしてマネジメントするための能力を有する実践的・創造的・指導的能力を備えた技術者の養成を目指しています。そのため, 次のような学生を広く求めます。

- ・自然環境, 社会システム, 地域文化など人間生活に関わる幅広い問題について関心を持つ知的好奇心の豊かな人
- ・建築・社会基盤分野の諸問題の論理的解明について学ぶことのできる基礎力を身につけた人
- ・創意工夫をこらした発想に富み, 難しい問題に対しても主体的, 積極的に取り組む意欲がある人

入学までに履修が望まれる教科・科目等

【高等学校普通科等から入学を希望する者(推薦入試, 一般入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い, すべての教科, 科目について, 大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に, 工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学, 理科, 国語, 英語, 社会に関しては下記の内容を身につけていることが望まれます。

数学: 数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B, 数学活用の知識と論理的思考能力

理科: 物理基礎, 物理, 化学基礎, 化学, 生物基礎, 生物の基礎的な知識

国語・英語: 基礎的な読解力, 表現力, コミュニケーション能力

社会: 地理歴史, 公民の基礎的な知識と社会的素養

【工業高等学校等から入学を希望する者(推薦入試)】

各高等学校が定める教育課程に従い, すべての教科, 科目について, 大学で勉学をすすめるために必要な基礎を履修していることが望まれます。

特に, 工学部における授業内容を理解するために必要な教科である数学, 理科, 国語, 英語および建築学, 土木工学関連の科目に関して高校で学んだ科目の内容を理解していることが望まれます。

I 募集人員

課程別の募集人員は, 下表のとおりです。技術分野との対応を脚注で示します。

学部	課程	一般入試 前期日程	推薦入試		帰国子女入試・ 私費外国人留學 生入試
			工業に関する 学科等	普通科・理教に 関する学科等	
工学部	機械工学課程 (*)	40名 一括募集	6名	15名 一括募集	若干名 一括募集
	電気・電子情報工学課程 (*)		5名		
	情報・知能工学課程 (*)		5名		
	環境・生命工学課程 (**)		6名		
	建築・都市システム学課程 (**)		3名		
合計		40名	25名	15名	若干名

(*) 基幹産業を支える先端的技術分野

(**) 持続的発展社会を支える先導的技術分野

II 入学者選抜関係日程

	推薦入試 帰国子女入試	私費外国人留學生入試	一般入試
10月下旬	インターネットを利用した 出願登録期間(10/18~11/7)		
11月上旬	出願期間(11/1~8)		
下旬	試験日(11/22)		
12月上旬	合格発表日(12/2)		
下旬		インターネットを利用した 出願登録期間(12/21~1/9)	
1月上旬		出願期間(1/4~10)	
中旬			インターネットを利用した 出願登録期間(1/16~1/31)
下旬			試験日(1/19~20)
			出願期間(1/23~2/1)
2月中旬	入学手続(2/13~15)	合格発表日(2/10)	
下旬			試験日(2/25)
3月上旬			合格発表日(3/6)
中旬		入学手続(3/13~15)	入学手続(3/13~15)

III 入学者の選抜方法等

入学者の選抜は, 次の方法により行います。

1 一般入試

(1) 選抜の方法

大学入試センター試験, 本学が実施する個別学力検査及び出身学校長が作成した調査書又は成績証明書の総合判定により行います。

なお、課程を区別せず一括して入学者を募集します。

(2) 所属課程の決定

原則として、本人の希望する課程に配属します。

(3) 受験科目

大学入試センター試験及び本学が実施する個別学力検査の教科・科目及び配点は、別紙1のとおりです。

(4) その他

「第1年次入学者選抜学生募集要項（一般入試〔前期日程〕）」は、11月上旬からホームページで公表します。冊子での配付はしません。

本学ホームページをご覧になれない場合は、本学入試課までご連絡ください。

2 推薦入試

推薦入試については、別紙2のとおりです。

3 帰国子女入試

帰国子女入試については、別紙3のとおりです。

4 私費外国人留学生入試

私費外国人留学生入試については、別紙4のとおりです。

IV 障害等を有する入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、障害等(学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度及び障害者自立支援法に準拠)がある者は、その障害の種類、程度に応じ、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願前に、あらかじめ本学に申し出てください。

また、申し出に基づき相談が必要になった場合は、以下によります。

(1) 相談申請の期日

ア 推薦入試及び帰国子女入試

平成28年10月13日(木)まで

イ 一般入試

平成29年1月16日(月)まで

(2) 相談の方法

相談申請書(様式任意)に健康診断書等の必要書類を添付することとし、必要な場合には、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(3) 連絡先

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課入試実施係
☎ 0532-44-6581

V 検定料の免除について

志願者又は主たる家計支持者が自然災害等により、り災し、災害救助法の適用を受けた場合、各種入学試験において、検定料を免除することがあります。

該当すると思われる場合は、事前に入試課入試実施係までお問い合わせください。

VI 個別の入学資格審査について(第1年次一般入試〔前期日程〕)

平成29年度第1年次一般入試〔前期日程〕に際して「高等学校を卒業した者と同等以上の学力がある者」としての入学資格認定を必要とする者(学校教育法施行規則第150条第7号関係)については個別の入学資格審査を行いますので、希望者は、事前に本学入試課へ問い合わせの上、平成28年9月1日(木)《必着》までに申請をしてください。

※ ただし、大学入試センター試験受験後に本学へ出願を希望する者は、大学入試センター試験実施日からその翌々日まで《必着》

VII その他

1 入学試験に関する問い合わせ

◎ 入学試験に関する問い合わせ先は、下記のとおりです。

〒441-8580 豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1
豊橋技術科学大学入試課入試実施係
☎ 0532-44-6581

電子メールアドレス : nyushi@office.tut.ac.jp

ホームページアドレス : http://www.tut.ac.jp/

【前期日程】

学部名及び募集人員	学力検査等区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名		個別学力検査等		大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等										
		教科	科目名等	教科	科目名	試験の区分	国語	地理歴史	公民	数学	理科	外国語	配点合計			
工学部 募集人員 40名	平成29年2月25日	国語	国語	1科目	数学 数学Ⅰ 数学Ⅱ 数学Ⅲ 数学A*1 数学B*2	センター試験	200	100*1		200	300	300*2	1,100			
		地理歴史	世界史A 世界史B 日本史A 日本史B 地理A 地理B	10科目から1科目選択		*1 大学入試センター試験の地理歴史及び公民については、2科目受験した者は第1解答科目の得点を採用します。 *2 外国語で英語を選択した場合の配点は、筆記240点リスニング60点とします。	個別学力検査	—	—	300	—	—	300			
		公民	現代社会 倫理 政治・経済 倫理, 政治・経済	1科目				計	200	100	500	300	300	1,400		
		数学	① 数学Ⅰ・数学A	1科目					*1 *2	計	200	100	500	300	300	1,400
			② 数学Ⅱ・数学B 簿記・会計*1 情報関係基礎*1	3科目から1科目選択												
		理科	物理 化学 生物	3科目から2科目選択												
外国語	英語*2	1科目														

【注意事項】

「大学入試センター試験の利用教科・科目名」について

- *1 「簿記・会計」、「情報関係基礎」の科目を選択できる者は、高等学校（中等教育を含む。以下同じ）及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程で当該科目を履修した（見込み）者に限ります。
- *2 「英語」には、「英語」の一領域として実施される「リスニングテスト」を含みます。

「個別学力検査等」について

- *1 「場合の数と確率」及び「図形の性質」から出題
- *2 「数列」及び「ベクトル」から出題

豊橋技術科学大学

実施学部・学科名	工学部	機械工学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程の全課程
募集人員		① 工業に関する学科等 25名 機械工学課程6名, 電気・電子情報工学課程5名, 情報・知能工学課程5名, 環境・生命工学課程6名, 建築・都市システム学課程3名 ② 普通科・理数に関する学科等 15名 (一括募集)
出願要件		① 工業に関する学科等 (1) 平成29年3月高等学校の「工業に関する学科」, 「総合学科」のいずれかを卒業見込みの者で, 人物・学業ともに優秀で学校長が責任をもって推薦できる者としてします。 ただし, 「総合学科」については, 工業に関する教科・科目を20単位以上取得した(見込みを含む)者としてします。 (2) 情報・知能工学課程については, 「商業に関する学科」, 「情報に関する学科」等を卒業見込みの者で, 情報に関する教科・科目を15単位以上取得した(見込みを含む)者も対象とします。 (3) 環境・生命工学課程については「農業に関する学科」, 建築・都市システム学課程については「農業に関する学科」のうち, 「農業土木科」を卒業見込みの者も対象とします。 ② 普通科・理数に関する学科等 平成29年3月高等学校の「普通科」, 「理数に関する学科」等を卒業見込みの者で, 人物・学業ともに優秀で学校長が責任をもって推薦できる者としてします。 なお, 「普通科」, 「理数に関する学科」以外の学科から出願する場合は, 以下の教科・科目を履修した(見込みを含む)者を対象とします。 外国語: 「コミュニケーション英語Ⅰ」 数学: 「数学Ⅰ, 数学Ⅱ, 数学Ⅲ, 数学A, 数学B」または「理数数学Ⅰ, 理数数学Ⅱ」 理科: 「物理基礎」, 「物理」, 「化学基礎」, 「化学」, 「生物基礎」, 「生物」の6科目のうち3科目以上とし, 物理, 化学, 生物のいずれかの科目を含むこととします。
選抜方法等		入学者の選抜は, 出身学校長から提出された推薦書及び調査書並びに面接, 小論文及び素養調査(数学, 英語)の総合判定により行います。
出願期間		平成28年11月1日(火)～平成28年11月8日(火)
選抜期日		平成28年11月22日(火)
その他		1 大学入試センター試験は課しません。 2 出身学校長は, 推薦書の作成にあたり, 学習成績概評Aに属する生徒のうち, 人物, 学力ともに特に優秀で, 学校長が責任をもって推薦できる者については, 調査書「学習成績概評」欄に㊤と標示してください。 なお, この場合には「備考」欄にその理由を明示してください。 3 出願要件①で情報・知能工学課程のみ該当するものから出願する場合は, 事前に入試課入試実施係へ出願資格に関し, 必ず照会してください。 4 「第1年次推薦入試学生募集要項」は, 9月上旬からホームページで公表します。冊子での配付はしません。 本学ホームページをご覧になれない場合は, 本学入試課までご連絡ください。

平成29年度 帰国子女入試選抜方法等

豊橋技術科学大学

実施学部・学科名	工学部 機械工学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程の全課程
募集人員	若干名
出願要件	<p>日本の国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で, 保護者の海外在留(保護者の帰国により単身で在留する場合を含む。)により外国の教育を受けている者のうち, 次のいずれかに該当する者とします。</p> <p>1 外国において, 学校教育における12年の課程(日本における通常の課程による学校教育の期間を含む。)を平成27年(2015年)4月1日から平成29年(2017年)3月31日までに卒業(修了)した者及び卒業(修了)見込みの者とします。ただし, 12年の課程のうち, 外国において最終学年を含め2年以上継続して正規の教育制度に基づく学校教育を受けている者に限ります。</p> <p>なお, 外国に設置されたものであっても, 日本の学校教育法に準拠した教育を施している学校(在外教育施設)に在学した者については, その期間は, 外国において学校教育を受けたものとはみなしません。</p> <p>2 外国において, 国際バカロレア資格又はフランス共和国のバカロレア資格若しくはドイツ連邦共和国のアビトゥア資格を平成27年(2015年)又は平成28年(2016年)に取得した者で, 平成29年(2017年)3月31日までに18歳に達する者とします。</p>
選抜方法等	入学者の選抜は, 最終出身学校長から提出された推薦書及び成績証明書並びに面接, 小論文及び素養調査(数学, 英語)の総合判定により行います。
出願期間	平成28年11月1日(火)～平成28年11月8日(火)
選抜期日	平成28年11月22日(火)
その他	<p>1 大学入試センター試験は課しません。</p> <p>2 「第1年次帰国子女入試学生募集要項」は, 9月上旬からホームページで公表します。冊子での配付はしません。</p> <p>本学ホームページをご覧になれない場合は, 本学入試課までご連絡ください。</p>

平成29年度 私費外国人留学生入試選抜方法等

豊橋技術科学大学

実施学部・学科名	工学部 機械工学課程, 電気・電子情報工学課程, 情報・知能工学課程, 環境・生命工学課程, 建築・都市システム学課程の全課程
募集人員	若干名
出願要件	<p>次の(1)～(4)のすべてに該当する者とします。</p> <p>(1) 日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く)</p> <p>(2) 独立行政法人日本学生支援機構が2016年6月又は11月に実施の「日本留学試験」を下記の科目等で受験し, 日本語について, 以下の基準点を満たす者</p> <p>① 出題言語 日本語</p> <p>② 試験科目 日本語 (基準点 280点以上) 数学 コース2 理科 物理・化学2科目指定</p> <p>(3) 以下に示す英語検定試験を2015年1月以降に受験済みで, いずれかの基準点を満たす者</p> <p>① TOEIC (SP) 基準点 400点以上 ② TOEFL (PBT) // 430点以上 ③ // (iBT) // 40点以上 ④ IELTS // 3.5以上</p> <p>(4) 次のいずれかの条件を満たす者</p> <p>① 外国において, 学校教育における12年の課程を修了した者及び2017年3月31日までに修了見込みの者, 又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの(昭和56年文部省告示第153号)</p> <p>② 国際バカロレア資格又はフランス共和国のバカロレア資格もしくはドイツ連邦共和国のアビトゥア資格を有する者で満18歳に達した者及び2017年3月31日までに達する者前記の者は, 日本の出入国管理及び難民認定法において大学入学に支障のない在留資格を有する者及び, 取得できる見込みの者</p>
選抜方法等	出身学校長が発行した成績証明書, 日本留学試験(数学, 理科)の成績及び面接の総合判定により行います。
出願期間	平成29年1月4日(水)～平成29年1月10日(火)
選抜期日	平成29年1月19日(木), 20日(金)
その他	<p>1 大学入試センター試験は課しません。</p> <p>2 「第1年次私費外国人留学生入試学生募集要項」は, 9月下旬からホームページで公表します。冊子での配付はしません。</p> <p>本学ホームページをご覧になれない場合は, 本学入試課までご連絡ください。</p>

インターネットを利用した出願について

豊橋技術科学大学は、今年度実施の1年次入学試験のすべてについて、インターネット（パソコン、スマートフォン）を利用した出願方法となります。

※ インターネットを利用することができない志願者の方は本学入試課までご連絡ください。

出願手順 ～3つのステップで完了～

ステップ1 登録

- 出願登録期間（5ページ）に画面の指示にしたがって、出願に必要な事項を登録してください。
- 推薦書等の本学所定の様式をダウンロードしてください。
- 宛名ラベル等の出願に必要な書類を印刷してください。
- 検定料の支払いに必要な情報を印刷するか、メモしてください。ただし、検定料をクレジットカード、ネットバンキングで支払う場合は、このステップで支払いが終了しますので、ステップ3に移ってください。

ステップ2 検定料支払い

- ステップ1で印刷又はメモした検定料の支払いに必要な情報をもとに検定料を支払ってください。
- 検定料は、ゆうちょ銀行等のATM（Pay-easy利用可能なATM）やコンビニで支払うことができます。

インターネットを経由して、クレジットカード、ネットバンキングで支払った場合

ステップ3 出願書類送付（郵送に限る）

- 市販の角型2号封筒（240mm×332mm）に宛名ラベルを貼り、出願書類を封入して本学入試課へ書留速達で郵送してください。

インターネットを利用した出願についての本学ホームページ

<http://www.tut.ac.jp/exam/exam-webentry.html>

○入試についての問合せ先：豊橋技術科学大学入試課

電話 (0532) 44-6581 e-mail nyushi@office.tut.ac.jp

午前8時30分～午後5時（ただし、土日・祝日及び年末年始、本学の休日を除く）

○インターネットでの登録操作及び検定料代行決済についての問合せ先：コールセンター

電話 0120-752-257

午前9時～午後8時（年内は午前12時～午後8時）

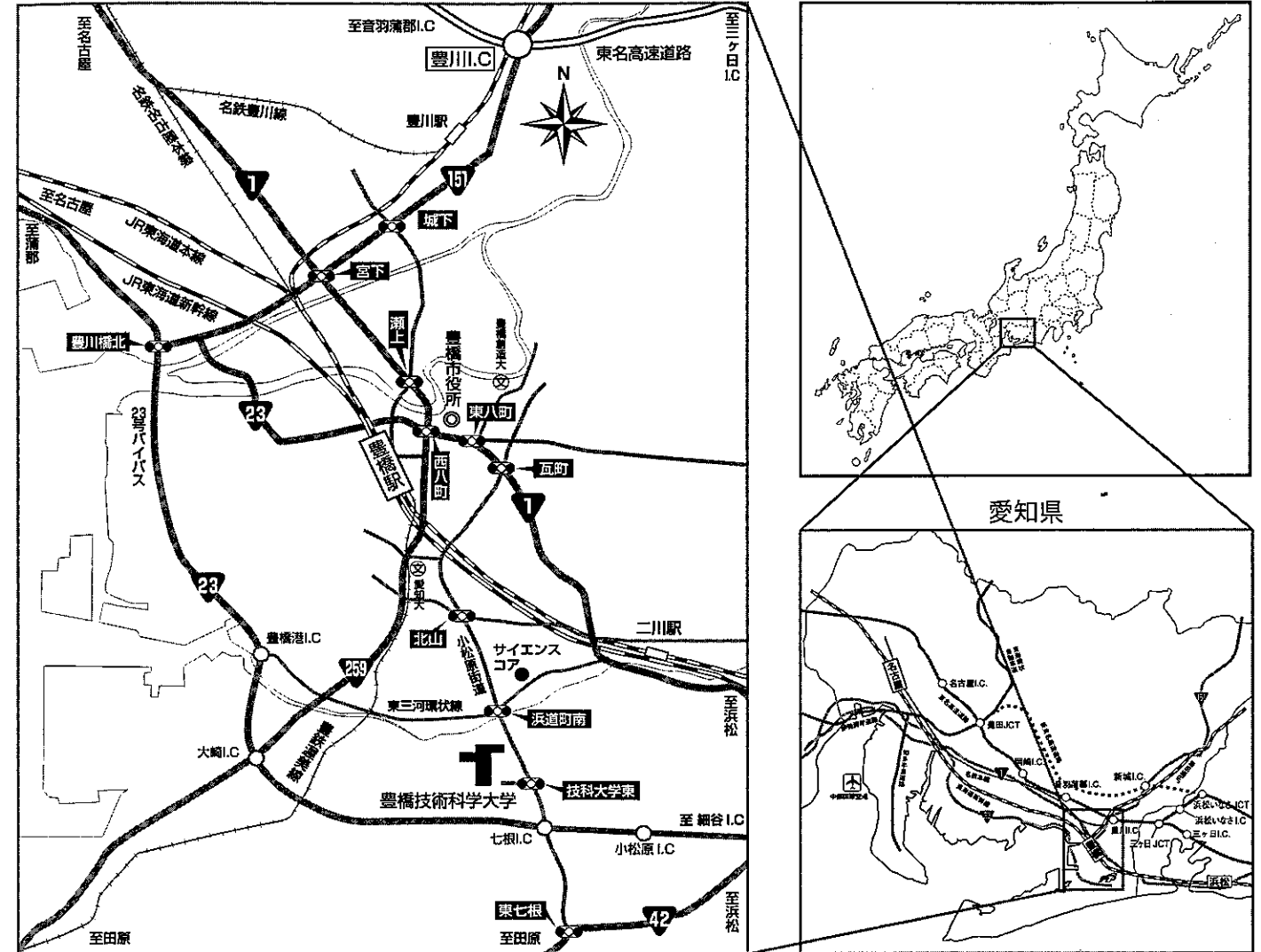
（ただし、各入試においてインターネットで登録ができる期間のみ（年末年始を除く））

国立大学法人 豊橋技術科学大学交通案内

〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

電話 0532-47-0111

<http://www.tut.ac.jp/>

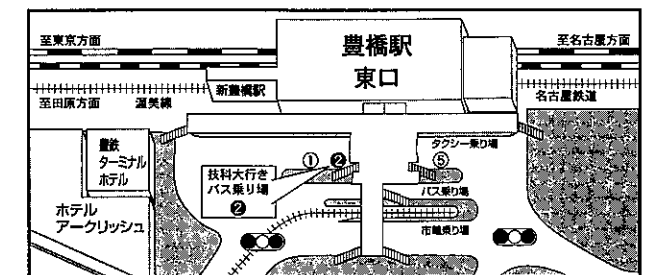
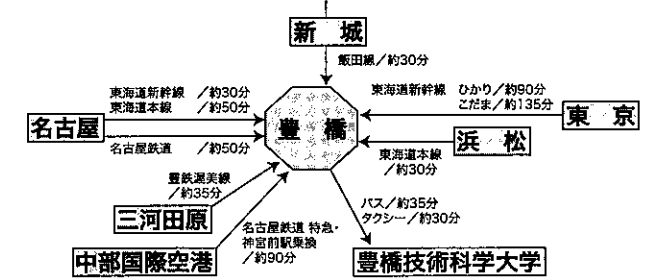


豊橋駅まで

- 東海道新幹線 名古屋駅から豊橋駅まで約30分
東京駅から豊橋駅までひかりで約90分
こだまで約135分
- 東海道本線 名古屋駅から豊橋駅まで新快速で約50分
浜松駅から豊橋駅まで約30分
- 名古屋鉄道 名鉄名古屋駅から豊橋駅まで特急で約50分
中部国際空港駅から豊橋駅まで特急で約90分（神宮前駅で乗換）

豊橋駅より

- バス 豊橋駅東口2番のりばから豊鉄バス豊橋技科大線に乗車『技科大前』で下車 所要時間約35分
- タクシー 豊橋駅前から南へ8.2km 約30分（豊橋駅～技科大 約3,000円）
- 自家用車にて 東名高速道路 音羽蒲郡I.C.または豊川I.C.から約1時間



お問い合わせ先

〒441-8580

愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

豊橋技術科学大学 入試課入試実施係

TEL : 0532-44-6581

FAX : 0532-44-6582

E-mail : nyushi@office.tut.ac.jp

HP : <http://www.tut.ac.jp/>